

# 令和7年度 いたばし地域クラブ（野球クラブ）について

令和7年3月

**【問合せ先】**

板橋区教育委員会事務局 教育総務課 部活動地域移行係

電 話 03（3579）2261

# 目 次

1	区の方向性	・・・	1
2	地域移行とは		
3	野球部の選定について	・・・	2
4	野球クラブでめざすもの（野球部地域移行のコンセプト）	・・・	2
5	野球クラブの創設方法	・・・	2
	(1) 設立の考え方		
	(2) チーム名		
	(3) ユニフォーム		
	(4) 指導者		
	(5) 活動場所		
	(6) 活動時間等		
	(7) 大会への参加等		
	(8) チームの連絡体制		
6	必要手続きと活動について	・・・	3
7	「リーグ・アグレシーバ」との連携について	・・・	4
	(1) 「リーグ・アグレシーバ」について		
	(2) いたばし地域クラブで実現したい新しいこと		
	(3) 板橋区と「リーグ・アグレシーバ」の連携		
	① リーグ戦の実施		
	② 選手向け講習会		
	③ 保護者向け講習会		
	④ 指導者向け講習		

## 1 区の方向性

区は、令和6年3月に「板橋区立中学校部活動地域移行推進ビジョン2030（以下「ビジョン2030」という。）」を策定し、区立中学校の部活動を行政が地域クラブを作り、責任をもって受皿となり地域移行すること、過渡期の推進策として部活動の地域連携（部活動指導員の導入など）を活用すること、生涯スポーツ社会、生涯学習社会がより進展するよう、将来は民間部門（地域のクラブチームなど）による中学生の受入をめざす地域展開を進めること、の三つを重点戦略に掲げました。

また、ビジョン2030の策定に合わせ、「板橋区立中学校部活動地域移行実施計画2025（以下「実施計画2025」という。）」を策定しています。この中で、行政による地域クラブとして、区教育委員会がいたばし地域クラブを設立し、各校の部活動をいたばし地域クラブの新たな個別クラブとして、積極的に移行していくこととしました。

すべての部活動をいたばし地域クラブへ地域移行するには時間がかかりますが、一つの部活動をいたばし地域クラブへ移行する際は、原則区立全中学校同時に行うことで、活動場所の確保や制度が混在することによる混乱を防ぎたいと考えています。

## 2 地域移行とは

	学校部活動	いたばし地域クラブ
1 責任の所在	<u>学校</u>	<u>教育委員会</u>
2 活動単位	学校単位	クラブ単位
3 指導者	教員 部活動指導員	教育委員会が派遣する
4 活動場所	学校施設	学校施設 学校施設以外もあり
5 費用	部費 私物道具等	会費 私物道具等
6 活動の性質	学校教育活動	地域クラブ活動

### 3 野球部の選定について

地域移行の原点課題である中学校部活動の持続可能性の低下という視点で見た時に、区立中学校での競技人口及び設置校数が比較的多い種目の中において、中学校体育連盟調べで最も競技人口の減少率が高いものが「軟式野球」です。学校単位からの脱却をコンセプトの一つとする地域移行でも、少子化の影響は避けられないところではありますが、今回、学校部活動にある種目・分野を地域クラブ化する最初の種目としては、この点を重視して「軟式野球」を選定しました。

### 4 野球クラブでめざすもの（野球部地域移行のコンセプト）

学校部活動をいたばし地域クラブへ移行する初めてのケースとなる今回は、「これまでと限りなく変わらない活動となること」と、「これまででない新しい価値を提供すること」の二点を大切にしました。具体的には、野球クラブの創設方法については、これまでと可能な限り変わらない活動となるようにしました。

また、新しい価値の提供については、選手の未来にフォーカスした指導の確立を目指す高校野球界の取組である「リーガ・アグレシーバ」との連携により、全生徒が野球を通じて成長する機会を増やすための活動を実践していきます。

### 5 野球クラブの創設方法

#### (1) 設立の考え方

この学校をホームグラウンドとする野球クラブを設立します。後述する入会手続きをしていただき、令和7年4月1日からいたばし地域クラブの野球クラブとして活動が始まります。

#### (2) チーム名

この野球クラブの名称は、原則、学校名に合わせた名称となります。

(例) ○○中学校野球部→○○野球クラブ

#### (3) ユニフォーム

野球クラブのユニフォームは、令和7年4月時点で8年生及び9年生の生徒については、現行ユニフォームをそのまま使用してください。

令和7年度の新入生については、ユニフォームが必要となる時点で、別途お知らせいたしますので、連絡をお待ちください。

#### (4) 指導者

教育委員会が実施するいたばし地域クラブにおいては、指導スタッフ

は、教育委員会が配置することとなります。野球クラブの指導スタッフは、1チームにつき、最低2名（2ポスト）を配します。このチームのスタッフは、次のとおりです。

(5) 活動場所

これまでと同様、本校校庭で行います。試合等により遠征移動があることもこれまでと同様です。

(6) 活動回数・活動時間等

「板橋区立中学校部活動の在り方に関する方針」に規定する活動方針を準用し、各野球クラブ毎に活動回数・活動時間を決定します。

なお、夏休み等の学校休業期間の活動もこれまでと同様ですが、選手ファーストの観点から熱中症予防運動指針等による活動時間帯変更等の可能性があります。

(7) 大会への参加等

昨年まで野球部として参加していた大会へは、これまでと同様に野球クラブで参加できます。

(8) チームの連絡体制

責任の所在が学校から教育委員会に変わることに伴い、各連絡先や方法が変わります。原則、専用のアプリを保護者及び生徒の携帯端末か生徒の一人一台端末にダウンロードしていただき、活動スケジュールや出欠連絡を行います。

① 出欠連絡 専用アプリ

② 活動予定連絡 専用アプリ

③ 予定変更等の緊急連絡 専用アプリ

④ 保護者会開催等の一般連絡 専用アプリ

⑤ ご質問・ご意見・ご要望等一般的な問い合わせ及び緊急問い合わせ先  
(教育委員会事務局 教育総務課 部活動地域移行係 03-3579-2261)

⑥ やむを得ない緊急時の活動現場への連絡先 4月以降入会者へ伝達  
※活動現場ではスタッフが常時携帯端末を所持しています。

## 6 必要手続きと活動について

(1) いたばし地域クラブへの入会

区 Web サイト「野球クラブ（いたばし地域クラブ）」ページ内の該当する野球クラブ申込フォームにて、お手続きください。

(2) 費用

いたばし地域クラブへの参加には月額 2,000 円の会費がかかります。

しかし、これまでの部活動からの激変緩和措置として、令和7年8月の

活動までを無料とします。そのため、今回のお手続きをする際に費用が掛かることはありません。

令和7年9月の活動から令和8年3月の活動までは、月額1,000円の会費がかかります。上記アのお手続後、教育委員会がお送りする口座振替依頼書を金融機関でお手続きいただき、ご返送ください。なお、引き落としは、当該活動月の末日に行います。

令和8年4月の活動からは、月額2,000円の会費がかかります。

(3) 連絡用アプリのダウンロード

前記5(8)チームの連絡体制のところに記載したとおり、今回の野球クラブの創設に合わせて、教育委員会が連絡用の専用アプリを導入します。ダウンロード方法等については、いたばし地域クラブへの入会手続き時にいただいた連絡先に案内を送信いたします。こちらに沿って入力いただき、連絡等がやり取りできるようにしてください。

(4) 活動について

活動日につきましては、連絡用アプリから確認することができます。

なお、新入生の活動への参加は、本校に学校部活動の仮入部開始日以降となります。

## 7 「リーガ・アグレシーバ」との連携について

(1) 「リーガ・アグレシーバ」について

LIGA Agresiva とは、スペイン語で積極的にプレーするリーグという意味で、現在、高校野球において、春夏秋に行われるトーナメントの大会とは別に、全国各地で行われる『選手たちの未来にフォーカスした』リーグ戦形式の取組です。通常の大会とは異なり、4つのLIGAメソッド

- I リーグ戦形式の取組
- II 選手の未来を考えたルールの導入
- III スポーツマンシップの学びと実践
- IV 指導者の指導力向上

を活用し、選手の成長・指導者の学びの場として実施されています。

「リーガ・アグレシーバ」は、リーグ戦を行うこと自体を目的とせず、リーグ戦を通じて、選手の成長や指導者の指導力向上を図ることで、日本における野球及びスポーツの社会的価値の向上をめざしています。

(2) いたばし地域クラブで実現したい新しいこと

いたばし地域クラブ(野球クラブ)は、「一人ひとりが主人公」を合言葉に、全生徒が野球を通じて成長する機会をこれまで以上に増やしたいと思っています。そこで、次のことに取り組もうと考えました。

- I リーグ戦形式の一部導入による全選手の出場機会の増加
- II 試合後のアフターマッチファンクション(対戦相手同士の交流)実施による選手が主体的に考える野球の探求
- III 選手向け講習を通じた自ら考える学びの場の提供
- IV 学び続ける指導者のための講習を通じた、選手の未来にフォーカスした指導の確立

(3) 板橋区と「リーグ・アグレシーバ」の連携

これらのことをすでに10年以上前から実践し、全国のアマチュア野球界に広く浸透している取組が「リーグ・アグレシーバ」です。板橋区は「リーグ・アグレシーバ」と連携し、次の取組を徐々にですが実践していきます。

① リーグ戦の実施

野球クラブ活動開始初年度の今年は、実施については、まだ検討段階です。例えば、夏の公式戦終了後、中学9年生を対象に1日サマーキャンプ(区内照明付き野球施設でミニリーグ戦)を実施したり、11月頃に中学7、8年生を対象にミニリーグ戦を実施したりするなどの案を検討中です。

② 選手向け講習会

実施時期は未定ですが、選手向けに、年2回、講習会を実施します。オンライン形式を想定しています。

③ 保護者向け講習会

保護者向けにも、自由参加で年2回、講習会を実施します。子どもの選手としての成長を支えるのに資する内容をオンライン形式でお届けします。

④ 指導者向け講習会

指導スタッフには、年2回、対面方式とオンライン方式で、選手の未来にフォーカスした指導のための勉強会を実施します。